

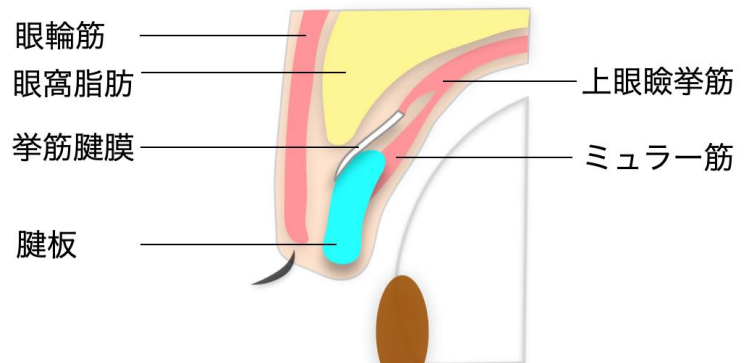
## 眼瞼下垂（がんけんかすい）

眼瞼下垂とは、上まぶたが下がり、物が見えにくい状態のこと입니다。

視界が狭くなるため、無意識に顎を上げたり、額の筋肉をたくさん使っている場合が多く、肩こりや首の痛みなどにも繋がります。



眼瞼下垂の原因には先天性と後天性があります。



### 解剖

上まぶた（上眼瞼）を上げるときは、主に上眼瞼挙筋が収縮することで、その先に付着する挙筋腱膜が瞼板（板状の線維性結合織）を引き上げるという動きが行われます。

## 分類

### ● 先天性眼瞼下垂

生まれつきの神経異常、上眼瞼挙筋の発達不全などにより、まぶたを挙げられません。

改善する可能性があること、きちんとした検査ができな

いことなどの理由から3歳頃までは経過観察する場合も多いです。

その後も無治療の場合は、弱視や斜視などを引き起こす可能性があるため治療が必要となります。



### ● 後天性眼瞼下垂

加齢による上眼瞼挙筋や腱膜の老化、コンタクトレンズ長期使用などによる上眼瞼挙筋の筋力低下、動眼神経麻痺、重症筋無力症などが原因として挙げられます。

その他、上眼瞼の皮膚がたるむこと（皮膚弛緩症）なども原因となります。

## 症状

主な症状は以下のようなものがあります。

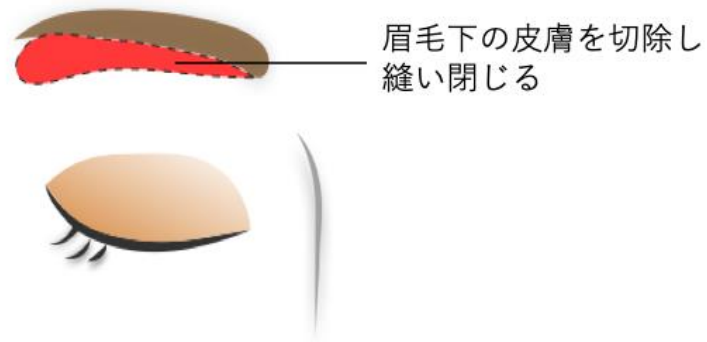
- ・ 物が見えにくい
- ・ 視野が狭い
- ・ 眠そうに見られる
- ・ 頭痛
- ・ 肩こり
- ・ 疲れやすい                      など

## 治療

症状・病態などを考え相談しながら決めていきます。

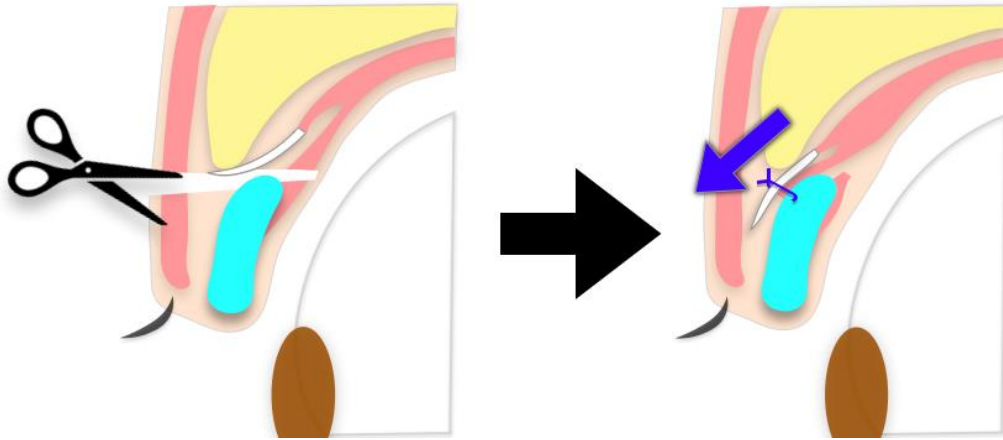
代表的な手術方法には下記のようなものがあります。

## ● 皮膚切除術



上眼瞼挙筋の機能は保たれているものの、上眼瞼の皮膚がたるんでいることで視野が狭くなっている場合に行われます。余分な皮膚、皮下脂肪、眼輪筋の一部などを切除し縫い合わせます。

● 挙筋前転法

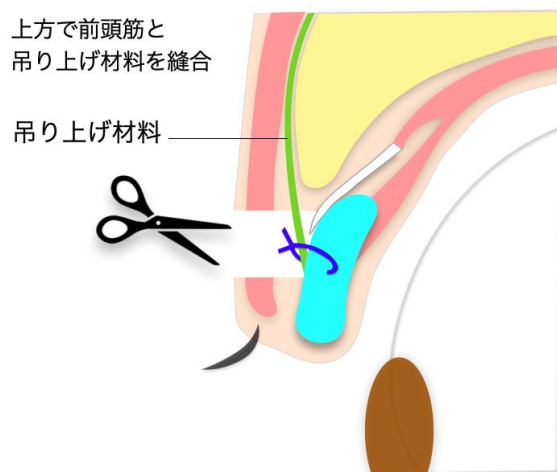


上眼瞼挙筋が緩んでしまっているため、瞼板を持ち上げる機能が弱まっている

場合に行われます。

瞼板と挙筋腱膜を剥がして**腱膜を前方向に移動させ、瞼板に固定**します。

## ● 前頭筋吊り上げ術



上眼瞼挙筋が機能しない場合、前頭筋と瞼板の間に吊り上げ材料を渡して固定することで、前頭筋と瞼板の動きを連動させます。

額の筋肉（前頭筋）を使って瞼を持ち上げます。

釣り上げ材料としては、こめかみや太ももの筋肉の膜を使います。

そのため、まぶた以外の場所に傷跡が残ります。

人工材料を使うこともあります。

## Q&A

Q. 治療は保険適用ですか？

A. 保険適用です。(診察で眼瞼下垂の診断がついた場合に限りです。)

Q. 手術にはどのくらいの日にかかりますか？

A. 当院では原則1泊2日での入院手術となります。

Q. 全身麻酔ですか？

A. 原則は局所麻酔です。

小児の場合や前頭筋吊り上げ術などは全身麻酔になります。

Q. 手術時間はどのくらいですか？

A. 両側で30～60分程度です。

術式によって異なります。

Q. 手術中や術後は痛いですか？

A. 局所麻酔で行うため、麻酔薬を注射する時は痛みがあります。

手術中や術後の痛みはほとんどありません。

Q. 傷跡は残りますか？

A. 傷跡は残りますが、半年ほどかけて目立ちにくくなります。

特に二重のラインの傷跡はきれいになりやすいです。